

CM方式の活用状況(1/6) (教育施設)

参考資料 2

事業名	江戸川区立松江小学校外改築事業	高知工科大学国際交流会館建設事業	大阪府立大学先端バイオ棟・サイエンス棟新築事業	大阪府立大学学舎改修等整備事業	
事業主体	東京都江戸川区	高知県公立大学法人	公立大学法人 大阪府立大学	公立大学法人 大阪府立大学	
事業概要	事業概要	大学の国際化に伴う留学生の受入れと国際交流を目的に、世界的な景観賞を受賞した他の建築物と調和するデザイン及び高品質な材料や工法を取入れて実施した、留学生用宿舎と国際交流施設を有した国際交流会館新築事業	平成17年度の公立大学法人化及び大阪府立大学等3校の再編・統合に伴い策定した施設整備プランに基づき、研究施設の統合と先端化を目的に、同一キャンパス内において同時期に実施した2棟の学舎新築事業	老朽化の目立つ既存の大学学舎の有効活用を基本方針として策定した耐震補強などの施設整備プランに基づき、耐震補強と新たな用途への対応を目的として平成23年度に実施した既存学舎6棟の学舎改修事業	
	事業規模(事業費)	改築工事全体 約30億円 うち新校舎 約24億円	6億円	非公開	
	事業規模(面積、延長等)	延べ床面積 約8,500㎡ 地上3階 RC造	延べ床面積 2,394㎡ 地上4階 RC造	先端バイオ棟: 延べ床面積 7,296㎡ 地上4階 RC造 サイエンス棟: 延べ床面積 7,412㎡ 地上4階 RC造	B2棟: 延べ床面積 2,346㎡ 地上3階 RC造 B4棟: 延べ床面積20,915㎡ 地上4階 RC造 B6棟: 延べ床面積 2,918㎡ 地上4階 RC造 B8棟: 延べ床面積 1,673㎡ 地上2階 RC造 B9棟: 延べ床面積 1,230㎡ 地上2階 RC造
	工期	平成23年7月～平成25年10月	平成24年10月～平成25年9月	先端バイオ棟: 平成20年1月～平成21年3月 サイエンス棟: 平成19年12月～平成21年3月	平成23年7月28日～平成24年3月31日
	発注方式	設計施工分離方式	設計施工分離方式	設計施工分離方式	設計施工一括方式
事業の抱える課題	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域意見を踏まえた計画の立案 ■ 施工中の学習環境対策 ■ 学校施設としての仕様・性能の適正管理 ■ 継続実施に向けた施設建替技術の蓄積 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 特殊デザインとコストの適切な調整 ■ 市場価格をベースにした予定価格の算定 ■ 施工中の品質検査結果の活用 ■ 設計・施工段階でのコスト削減 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 改築経験のない発注者体制の補完 ■ 隣接する複数工事間の調整 ■ 施工者に対する明確な要求水準の提示 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 施工中の変更リスクを予算内で調整 ■ 前後関係にある複数工事間調整による遅延防止 ■ 発注過程・コストのアカウンタビリティの確保 	
業務実施体制	<p>発注者 (Client) と 設計者 (Designer) と CMR と 地元懇談会 (Local Stakeholders) の関係を示す図。発注者は設計者とCMRとに各種協議・報告を行う。設計者はCMRに意見の反映・各種調整を行う。CMRは発注者に意見収集・調整を行う。地元懇談会はCMRを通じて意見収集支援・調整支援を行う。</p>	<p>発注者 (Client) と 設計者 (Designer) と CMR と 設計者監理者 (Designer Supervisor) と 元請業者 (General Contractor) と 専門業者 (Specialized Contractors) の関係を示す図。発注者は設計者監理者とCMRとに各種協議・報告を行う。設計者監理者はCMRにVE提案・検討結果報告、品質検査報告、品質確認、各種調整を行う。CMRは発注者にVE提案・検討結果報告、品質確認、各種調整を行う。元請業者はCMRを通じて品質検査を行う。専門業者は元請業者を通じて各種調整を行う。</p>	<p>特別目的会社 (資金融通、建物保有) と 発注者 (Client) と 設計者 (Designer) と CMR と 設計者監理者 (Designer Supervisor) と 元請業者 (General Contractor) と 専門業者 (Specialized Contractors) の関係を示す図。特別目的会社は発注者と一括請負方式で関係している。発注者は設計者監理者とCMRとに各種協議・報告を行う。設計者監理者はCMRに工程管理、品質管理、各種調整を行う。CMRは発注者に工程管理、品質管理、各種調整を行う。元請業者はCMRを通じて品質検査を行う。専門業者は元請業者を通じて各種調整を行う。</p>	<p>発注者 (Client) と CMR と 設計施工者 (Design-Construct) と 元請業者 (General Contractor) と 専門業者 (Specialized Contractors) の関係を示す図。発注者はCMRと一括請負方式で関係している。CMRは発注者に各種協議・確認、報告を行う。設計施工者はCMRを通じて工程管理、品質管理、VE提案、費用等各種調整を行う。元請業者はCMRを通じて品質検査を行う。専門業者は元請業者を通じて各種調整を行う。</p>	
契約概要	発注方式	公募型プロポーザル方式	随意契約方式	公募型プロポーザル方式	公募型プロポーザル方式
	CMR名	明豊ファシリティワークス(株)	(株)アクア	日建設計コンストラクション・マネジメント(株)	明豊ファシリティワークス(株)
	契約金額	約27,000千円	約22,500千円	非公開	約35,000千円 (CMフィー部分)
CM方式活用ステージ	<p>事業計画 (Project Plan) → 基本設計 (Basic Design) → 実施設計 (Construction Design) → 施工 (Construction) → 管理 (Management)</p> <p>・ 契約期間: 平成21年4月から平成23年8月まで ※事業計画に基本構想・基本計画を含む</p>	<p>事業計画 (Project Plan) → 基本設計 (Basic Design) → 実施設計 (Construction Design) → 施工 (Construction) → 管理 (Management)</p> <p>・ 契約期間: 平成23年11月から平成25年9月まで</p>	<p>事業計画 (Project Plan) → 基本設計 (Basic Design) → 実施設計 (Construction Design) → 施工 (Construction) → 維持管理 (Maintenance)</p> <p>・ 契約期間: 平成19年2月から平成21年3月まで</p>	<p>事業計画 (Project Plan) → 基本設計 (Basic Design) → 実施設計 (Construction Design) → 施工 (Construction) → 維持管理 (Maintenance)</p> <p>・ 契約期間: 平成23年7月から平成25年3月まで</p>	

CM方式の活用状況(4/6) (病院)

事業名		瀬戸内市民病院新築事業	上白根病院増・改築事業	立川中央病院建設事業	足柄上合同庁舎本館新築事業
事業主体		岡山県瀬戸内市	医療法人社団恵生会上白根病院	医療法人財団 立川中央病院	神奈川県
事業概要	事業概要	昭和46年に建設され老朽化が顕著になってきた瀬戸内市民病院施設を、耐震性に優れ、かつ将来の医療需要に合わせた機能を有する新病院施設とすることを目的に、隣接地を活用しつつ実施している病院建替事業	昭和62年に建設された現病院を対象に、耐震基準や病室スペースなどの病院施設の現行基準に適合し、かつ現在の医療ニーズに必要な機能を備えた地域の急性期病院に転換することを目的として実施した病院増築・改築事業	新たな医療技術への対応、患者の快適性と職員の労働環境向上を目的に、築50年が経過し施設・設備が老朽化した病院施設の建替を、住宅密集地の狭隘な敷地内において周辺住環境への影響に配慮しつつ、病院業務を継続しながら実施した病院建替事業	耐震機能が不足している県合同庁舎の耐震機能の確保と防災拠点機能の強化を目的に、県の「緊急財政対策」の一環としてモデル的に設計施工一括発注方式で実施している庁舎建替事業
	事業規模（事業費）	総事業費約40億円（建設費は約24億円）	非公開	非公開	契約金額 約31.4億円（設計及び工事費：税込み）
	事業規模（面積、延長等）	延べ床面積 7,756㎡ 地上2階(一部3階、地下ピット有) RC造	増築棟：述べ床面積 5,516㎡ 地上5階 RC造 改築棟：述べ床面積 5,215㎡ 地上4階,地下1階 RC造	延べ床面積 7,475㎡ 北棟：地上4階,地下1階 南棟：地上3階,地下1階 RC造	延べ床面積 8,881㎡ 地上5階 RC造
	工期	平成27年3月～平成28年6月（予定）	平成24年12月～平成26年4月	平成23年10月～平成26年9月	平成28年10月～平成30年3月（予定）
	発注方式	設計施工分離方式	設計施工一括方式	設計施工分離方式	設計施工一括方式
事業の抱える課題		<ul style="list-style-type: none"> ■設計段階におけるVE等によるコスト削減 ■事業内容・規模に応じた発注方式の選定 ■移転も含めた標準となる工事工程の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ■最適な工法と発注方法の選択 ■発注者が期待する品質の実現 ■休業を伴わない増改築の実現 	<ul style="list-style-type: none"> ■発注者期待の品質を適正コストで実現 ■特殊施工条件下での円滑な工事進捗 ■近隣住民などへの対応 	<ul style="list-style-type: none"> ■設計施工一括発注方式での要求水準の作成 ■設計施工一括発注時の適正コスト評価 ■施工者特有の技術活用とVEによる工期短縮 ■設計施工一括発注方式の評価
業務実施体制		<p style="text-align: center;">— : 契約関係 → : 情報の流れ</p>	<p style="text-align: center;">— : 契約関係 → : 情報の流れ</p>	<p style="text-align: center;">— : 契約関係 → : 情報の流れ</p> <p style="text-align: center;">[] : H28.11以降実施予定部分</p>	<p style="text-align: center;">— : 契約関係 → : 情報の流れ</p> <p style="text-align: center;">[] : H28.11以降実施予定部分</p>
契約概要	発注方式	一般競争入札方式	随意契約方式	随意契約方式	一般競争入札方式
	CMR名	(株)アクア	(株)山下ピー・エム・コンサルタンツ	(株)プラスPM	(株)三菱地所設計
	契約金額	6,960千円	非公開	非公開	65,397千円
CM方式活用ステージ		<p>・ 契約期間：平成25年10月25日から平成26年3月末まで</p>	<p>・ 契約期間：平成23年11月から平成26年4月まで</p>	<p>・ 契約期間：平成22年6月から平成26年9月まで</p>	<p>・ 契約期間：第1段階 平成26年11月から平成27年3月 第2段階 平成27年6月から平成30年3月(工事完了まで)</p>

CM方式の活用状況(6/6) (土木)

事業名		御笠川河川激甚災害対策特別緊急事業	矢部川災害復旧助成事業	元静岡県クレー射撃場環境対策事業	安永川トンネル新設事業（水源工区）
事業主体		福岡県	福岡県	静岡県	愛知県豊田市
事業概要	事業概要	平成15年に発生した記録的豪雨による御笠川氾濫で、博多市内等で発生した浸水被害を受けて、国の河川激甚災害対策特別緊急事業の認定により実施した、河川10.5kmを対象とした大規模かつ5年という短期間で集中的に実施した河川改修事業	観測史上最大の時間雨量に起因する平成24年の矢部川水系における浸水被害を受けて、施工場所が主として山間部に位置していることによる制約の下、河川施設の復旧と堤防の高上げなどによる改良を、国の河川改良復旧事業の認定を受けて5年間の計画で実施している河川改良事業	平成17年に閉鎖した県営のクレー射撃場内に堆積している残留鉛弾による鉛土壌汚染対策を目的として実施した、鉛除去不溶化及び遮水工事等環境対策事業	豊田市の中心市街地の浸水被害解消を目的に、市内を流れる一級河川安永川を対象に実施した全長約2kmの水路トンネル建設事業のうち、土被りが薄くかつ上部が宅地、病院が立地するという特殊条件区間の約250mの水路トンネル建設事業
	事業規模（事業費）	約420億円	約119億円	約6.2億円	約18億円
	事業規模（面積、延長等）	事業延長 10.5km 護岸工13km、掘削工120万m ³ 、橋梁改築等13橋、堰改築5基	事業延長 35.9km（矢部川、星野川、笠原川） 築堤、河道拡幅、河床掘削、橋梁架替11橋、堰改築2基	施工面積 5.23ha 鉛汚染土壌掘削工 26,000m ³ 汚染土壌搬出量 8,780t	全長約2kmの水路トンネルの内、約250m区間（水源工区）
	工期	平成11年度～19年度 （平成15年度計画変更）	平成24年度～概ね5年	平成22年3月～平成24年9月	平成20年9月～平成23年2月
	発注方式	設計施工分離方式	設計施工分離方式	設計施工分離方式	設計施工分離方式
事業の抱える課題		<ul style="list-style-type: none"> ■ 厳しいスケジュールでの完了 ■ 多数に分割した工事間の調整による品質管理 ■ 事業の段階的効果の最大化 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 大規模・複数工事での潜在的リスクの抽出 ■ 施工条件変更によるコスト増の抑制 ■ 厳しい施工条件下での工程遅延の回避 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 一時的な専門技術の発注者体制の補完 ■ 施工進捗の確実なモニタリング体制の確保 ■ 多様な関係者間の円滑な調整 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 特殊技術評価を含めた施工者の選定 ■ 追加工法の専門的評価によるコスト抑制 ■ 工区内住民、病院などへの細かな配慮
業務実施体制					
契約概要	発注方式	指名競争入札方式	指名競争入札方式	公募型プロポーザル方式	随意契約方式
	CMR名	パシフィックコンサルタンツ(株)	(株)ニュージェック	一般社団法人 日本建設機械施工協会 施工技術総合	一般社団法人 日本建設機械施工協会 施工技術総合
	契約金額	約40,000千円	約28,000千円	46,872千円	約20,000千円
CM方式活用ステージ		<p>・ 契約期間：平成16年度から平成19年度</p>	<p>・ 契約期間：平成27年8月から平成28年3月まで</p>	<p>・ 契約期間：平成22年3月から平成24年9月まで</p>	<p>・ 期間：平成20年11月から平成23年2月</p>